



日本YWCA・パレスチナYWCA共催オンライントークセッション

「ナクバ」から74年：パレスチナ難民キャンプの子どもたちに笑顔を



1948年5月15日は、イスラエル建国と共に数十万人のパレスチナの人々が土地を奪われ難民となった「ナクバ＝大惨事」と呼ばれる日です。それから74年を経た現在も、多くの人が難民として暮らしています。

パレスチナYWCAが難民キャンプで経営する幼稚園は、子どもたちの健全な成長を支える拠点です。しかし、コロナ禍による経済状況の悪化でその活動が危機に瀕しています。

本イベントでは、パレスチナと中継をつなぎ、現在の状況と、難民キャンプでの幼稚園からの声を共有します。

衝突が絶えない世界で、未来のために私たちができることは何でしょうか？

日時 5月16日（月）
19：30～21：00

@Zoom ウェビナー(要申し込み) 日本語通訳付き

お申し込みはこちら

(<https://palestine-kindergarten.peatix.com>)



連絡先：日本YWCA
<http://www.ywca.or.jp>
office-japan@ywca.or.jp



パレスチナYWCAからの支援の呼びかけ

パレスチナYWCAは、国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）設立以前から、パレスチナ難民を支援する最初のNGOの一つでした。Aqbet Jaber（ジェリコ県）とJalazone（ラマラ県）の難民キャンプにある2つのコミュニティセンターを通じて、難民、特に女性や子どもたちにサービスを提供し続けています。

両センターには数百人の子どもたちを収容する幼稚園があり、幼児期のケアと教育を提供しています。2020年以降、センターはその持続可能性を脅かす大きな課題に直面しています。パレスチナ全般、特に難民キャンプにおける悲惨な人道的・社会経済的状況は、基本的なニーズを満たし、パレスチナ難民を支援するという私たちのコミットメントを果たす能力に影響を及ぼしています。COVID-19の大流行が状況を悪化させ、私たちの使命と2つのキャンプの存在を脅かしているのです。

皆様のご支援により、私たちのセンターは、難民キャンプで疎外された子どもたちや家族の差し迫ったニーズに応え続けることができるのです。子どもたちの笑顔を守るために、今すぐご寄付をお願いします。

ご寄付の振込先：

郵便振替 00170-7-23723
公益財団法人日本YWCA

※通信欄に「パレスチナYWCA支援募金」とご明記ください。

裏面のオンラインイベント「『ナクバ』から74年：パレスチナ難民キャンプの子どもたちに笑顔を」チケット購入を通じたご寄付も可能です。